

教科名		英語	科目名	Communication English I		単位数	4	
教科書等		CROWN English Communication 1（三省堂）			教材等	教科書付属ワーク、『be 総合文法』（いいずな書店）、ライトハウス英和辞典（研究社）		
目標		1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持つことができる。 2 英語を通じて、世界情勢、教育、伝統文化、環境、ボランティア、科学、スポーツ、資源、経済、戦争・平和などの話題に関する情報や考えなどを的確に理解することができる。 3 英語を通じて、世界情勢、教育、伝統文化、環境、ボランティア、科学、スポーツ、資源、経済、戦争・平和などの話題に関する自分の考えや概要などを適切に伝えることができる。 4 言語の使用場面や目的に合わせて、語彙・文法事項を適切に運用することができる。						
評価の観点		関心・意欲・態度		表現の能力		理解の能力		言語・文化
観点の趣旨		コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加している。		英語で話したり、書いたりして、適切に表現することができる。また、聞き手に伝わるように適切に音読することができる。		情報や考えなど相手が伝えようとする事柄を的確に理解している。		言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価方法	定期考査			○		○		○
	授業における言語活動	○		○		○		
	課題の提出状況	○		○				
学期	月	単元内容（単元名）			具体的な学習内容			
前期	4月 & 5月	Introduction 英語学習ガイダンス Lesson 1 When Words Won't Work ピクトグラムと言語を比較し、ことばの役割とピクトグラムの有用性・可能性について考える。 Lesson 2 Going into Space 宇宙飛行士若田光一氏の話を通し、地球人としての生き方を考える。			・辞書の使い方をマスターし、発音記号の読み方を理解する。 ・予習復習の姿勢をしっかりと身につける。 ・「ことば」の役割を認識する。 ・「ピクトグラム」の役割と可能性を読み取り、将来はどうか意見交換する。 ・助動詞，5文型，動名詞 ・宇宙に行くことの意義を読み取る。 ・外国語を学ぶ意味を認識する。 ・宇宙開発の賛否について意見交換する。 ・現在完了、不定詞、SVO(O=疑問詞節/if節)			
	6月	Lesson 3 A Canoe Is an Island ホクレア号の航海に参加した内野加奈子の思いから、伝統文化の継承			・内野が航海から学んだことを読み取る。 ・伝統文化を継承する意義について意見交換する。 ・関係代名詞、分詞の形容詞的用法、SVOC(C=that節)			

		と自然との関わり方を考える。	
	7 月	Lesson 4 Seeing with the Eyes of Heart ピアニスト辻井伸行の業績を通して、ひとつのことを継続してやることの大切さを知る。	・辻井が自分を「たまたま目が見えない」ピアニストと表現する理由を考える。 ・「音楽の力」でなにができるか意見交換する。 ・関係代名詞 what、過去完了、SVOC(C=原形不定詞)
	9 月	Lesson 5 Food Bank フードバンク活動を知り、貧困やボランティア活動について考える。	・ボランティア活動をする上で大切なことに気付く。 ・日本や世界における貧困について認識する。 ・ボランティアの意義と国の役割について意見交換する。 ・関係副詞, SVOC(C=分詞)、SVC(C=分詞)
	10 月	Lesson 6 Roots and Shoots 動物学者・環境保護活動家のジェーン・グドールのインタビューを通して、動植物との共生を考える。	・インタビュー形式を知り、生徒同士でインタビューをし合う。 ・「共生」や「絶滅危惧種の保護」について意見交換する。 ・自分にできる環境保護活動について考える。 ・分詞構文, 形式主語の it、同格
後期	11 月	Lesson 7 Paper Architect 紙管を使ったシェルターで被災地支援を行う建築家・坂茂を通して、被災者支援の在り方を考える。	・坂にとって「成長する」とはどんなことか考える。 ・被災者にとって本当に必要な支援について考える。 ・仮設住宅の必要条件について意見交換する。 ・seem to~; it seems that~、受動態の完了形、形式目的語 it
	12 月	Lesson 8 Not So Long Ago 20 世紀を象徴する写真を見て、歴史から何を学び、その教訓をどう生かせるかを考える。	・20 世紀がどんな時代であったかを考える。 ・写真ができること、できないことについて意見交換する。 ・20 世紀からどんな教訓を得られるか考える。 ・仮定法過去, SVOO(DO=疑問詞節)、付帯状況の with
	1 月	Lesson 9 Crossing the “Uncanny Valley” 人とは何かを探求する研究者・石黒浩を通して、人とは何か、ロボットとは何かを改めて考える。	・石黒がアンドロイド研究をする理由を正しく読み取る。 ・社会におけるロボットの役割が今後どう変わるかについて考える。 ・自分の生活にロボットが関与することについて意見交換する。 ・部分否定、助動詞+be+過去分詞
	2 月	Lesson 10 Good Ol’ Charlie Brown	・シュルツの考える「人生の成功」とは何かを理解し、自分のそれと比較する。

			・（小説と比べたときの）漫画の利点について意見交換する。 ・ no matter+疑問詞、 be to 不定詞、仮定法過去完了
	3 月	Optional reading Heroic Losers 敗れてもなお、観客の心をつかんだ オリンピックのヒーローについて 読み、真の勝者の条件を考える。	・「オリンピックの勝者」とはどんな人のことか読み取る。 ・「真の勝者」はオリンピックに出場した選手だけに当てはまるのか意見交換する。

教科名		英語	科目名	英語表現 I		単位数	2	
教科書等		CROWN English Expression I（三省堂）			教材等	教科書付属ワーク、『be 総合文法』（いいずな書店）、ライトハウス英和辞典（研究社）		
目標		1. 身近な話題について聞いたり読んだりしたことを踏まえて、基本的な英語により、その場面に応じて即興で答えたり、簡潔に話すことができるようにする。あわせて基本的会話表現にも習熟する。 2. 話したり書いたりする言語活動を中心に、表現の幅を広げ、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、自らの考えや説明、要約などについて内容的にまとまりのある発信ができるようにする。						
評価の観点		関心・意欲・態度		表現の能力		理解の能力		言語・文化
観点の趣旨		コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加している。		英語で話したり、書いたりして、適切に表現することができる。また、聞き手に伝わるように適切に音読することができる。		情報や考えなど相手が伝えようとする事柄を的確に理解している。		言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価方法	定期考査			○		○		○
	授業における言語活動	○		○		○		
	課題の提出状況	○		○				
学期	月	単元内容（単元名）			具体的な学習内容			
前期	4 月	Introduction 英語学習へのガイダンス			・辞書の使い方をマスターし、発音記号の読み方を理解する。 ・予習復習の姿勢をしっかりと身につける。			
	5 月	Lesson 1：フィンランド 学校生活・友人について考える。			・時制を理解する。 現在形／過去形／未来形／完了形／進行形			
	6 月	Lesson 2：2020 年東京オリンピック スポーツクラブ活動について考える。			・助動詞を理解する。 can / may / must / should / will			
	7 月	Lesson 3：広重 日本文化について考える。			・受動態を理解する。			
	9 月	Lesson 4：シロクマを救え！ 環境・リサイクルについて考える。			・不定詞を理解する。 名詞的用法／形容詞的用法／副詞的用法			
	10 月	Lesson 5：国境なき医師団 国際協力・国際理解について考える。			・動名詞を理解する。 動名詞の基本／不定詞との比較			
後期	11 月	Lesson 6：ロゼッタストーン 言語・文化について考える。			・分詞を理解する。 形容詞的用法／分詞構文			
	12 月	Lesson 7：すばる望遠鏡 科学について考える。			・比較を理解する。 原級／比較級／最上級			
	1 月	Lesson 8：神戸の鉄人 28 号 日本・世界について考える。			・関係詞を理解する。 関係代名詞／関係副詞			
	2 月	Lesson 9：リニア中央新幹線			・仮定法を理解する。			

		産業・技術について考える。	
	3 月	Lesson 10：沈黙の春 人生・生き方について考える。	・接続詞を理解する。

教 科 名		英語	科 目 名	CE II		単 位 数	4
教科書等		UNICORN English Communication 2			教 材 等	辞書等	
目 標		生徒が情報や考え方などを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を行う。 ア 事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。 イ 説明，討論，物語，随筆などについて，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。 ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考え方について，話し合うなどして結論をまとめる。 エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考え方などについて，まとまりのある文章を書く。					
評価の観点		関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解		
観点の趣旨		英語への興味・関心，積極的コミュニケーション努力	英語で表現する努力，標準的な発音で英語を話す努力	相手の考えや文章内容を理解しようとする努力	日常生活表現の習得，内容理解と知識拡大への努力		
評価方法	定期考査		○	○	○		
	意思疎通の姿勢	○	○	○			
	課題	○	○				
	発表活動		○	○	○		
	発音への意識		○		○		
学期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容			
前記	4月	Lesson 1 Through the Eyes of Imagination		・物の見方の諸相を理解する。 ・芸術作品のみかたについて考え，話し合う。 ・S+V(=be 動詞)+C(=that 節) / 必要・義務と推量の助動詞 / 強調構文			
		Lesson 2 The Problem We All Live With		・学校の規則について話し合う。 ・現在のルビーの活動とその意義について考える。 ・S+V+C(=分詞) / to 不定詞の受動態 / 倒置を理解し，文を作る。			
	5月	UNICORN JOURNAL 1		・制服に関する新聞記事を読む。			
		Lesson 3 The Debate Girls		・英語ディベート競技の概要を説明する。 ・生徒が説明する練習内容や注意点を理解する。 ・to 不定詞の完了形 / to 不定詞の否定形 / 省略			
	6月	Lesson 4 The International Space		・ISS の概要を説明する。			

後 期	月	Staion	・宇宙飛行士の生活について知る。 ・未来完了進行形 / 動名詞の受動態・意味上の主語 / 無生物主語
		Lesson 5 The Boy Who Harnessed the Wind	・風車を完成させた主人公の気持ちを読み取る。 ・困難に耐えて努力し、悲願を達成した主人公の生き方について話し合う。 ・分詞構文の完了形・否定形 / 付帯状況の with / 話法（直接・間接）
	7月	UNICORN JOURNAL 2 Lesson 6 Just My Type	・電子書籍に関する新聞記事を読む。 ・スティーブジョブズが活字にこだわった理由を知る。 ・現代における活字の役割について話し合う。 ・There is [are] ~分詞 / 分詞構文の受動態 / 同格の that
	9月	Lesson 7 The Power of Choosing	・スティーブン・キャラバンの漂流生活について知る。 ・日常生活における「選択」について考える。 ・that 節 / 名詞構文
	10月	UNICORN JOURNAL 3 Lesson 8 Global Water Issues	・エネルギー問題に関する新聞記事を読む。 ・本文に沿って図表やグラフの内容を説明する。 ・ヴァーチャル・ウォーターの概念を通して、身近な観点から水問題を理解する。 ・関係詞 what を用いた慣用句 / 複合関係詞 / 『譲歩』の表現
	11月	Lesson 9 The Diving-bell and the Butterfly Lesson 10 What is Uniquely Human? From the Study of Chimpanzees	・本文中の比喻表現やユーモアを読み取る。 ・好きな映画について話し合う。 ・独立分詞構文 / It seems that 節と seem to do / 「目的」の表現 ・人間とチンパンジーの共通点について考える。 ・将来の夢について話し合う。
	12月	UNICORN JOURNAL 4	・S+V (=be)+C (=wh-節など) / 仮定法の色々な形 / 「時」の表現 ・言語に関する新聞記事を読む。
	1月	For Reading 1 Retracting a Life-saving Journey	・報道記事を読み、その役割について考える。
	2月	Lesson 11 Just Enough	・21世紀が抱える環境問題について知る。

	月		・身近な環境問題の解決策について話し合う。 ・動詞の否定形・完了形 / 仮定法現在 / 「条件」の表現 ・写真を見てその内容を描写する。
	3月	UNICORN JOURNAL 5 Lesson 12 Reading a Poem	・英詩を音読する。 ・好きな詩や詩的表現について話し合う。 ・will 以外のいろいろな未来の表し方 / to 不定詞+前置詞 / 「否定」の表現

教 科 名		英語	科 目 名	英語表現Ⅱ		単 位 数	2, 3		
教科書等		Perspective English Expression Ⅱ (第一学習社)			教 材 等	教科書付属ワーク 「be 総合文法」(いっずな書店) ライトハウス英和辞典 (研究社)			
目 標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な視点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす							
評価の観点		関心・意欲・態度		表現の能力		理解の能力		言語・文化	
観点の趣旨		コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加している。		英語で話したり、書いたりして、適切に表現することができる。また、聞き手に伝わるように適切に音読することができる。		情報や考えなど相手が伝えようとする事柄を的確に理解している。		言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。	
評価方法	定期考査			○		○		○	
	授業における言語活動	○		○		○			
	課題の提出状況	○		○					
学期	月	単元内容 (単元名)			具体的な学習内容				
前期	4 月	Lesson 1 Education / Learning			完了形・進行形 「予定」「計画」の表現を学び、対話をし、文を作る。				
	5 月	Lesson 2 Food / Clothing / Housing			注意すべき動詞と文型との関係 「期待」「意図」「予想」の表現を理解し、使用する。				
		Lesson 3 Hobby / Pastime			注意すべき受動態 「趣味」・「娯楽」に関する文章を理解する。				
		Lesson 4 Daily Life			助動詞の完了形、助動詞に準ずる表現 日常生活の場面を理解する。「目的」の表現を理解する。				
	6 月	Lesson 5 Language			注意すべき不定詞 「原因」「理由」の表現を理解し使用する。				
		Lesson 6 Sports			使役動詞・知覚動詞 「必要」「義務」の表現を学び、使用する。				
		Lesson 7 Traveling / Sightseeing / Transportaion			意味上の主語の表し方 「推測」「可能性」の表現を理解し、使用する。 旅行・観光・交通に関する場面を理解する。				
	9 月	Lesson 8 Weather / Atmospheric Phenomena			分詞構文・付帯状況 「確信」の表現を理解し使用する。 天候・気象現象に関する場面を学ぶ。				

後期		Lesson 9	形式主語・形式目的語
		Art	「好き」「嫌い」の表現を学び、使用する。
	10 月	Lesson 10	後置修飾の表現
		Medicine / Health Care	「喜び」「怒り」「驚き」の表現を学び、使用する。
		Lesson 11	注意すべき仮定法
		Japanese Culture	「心配」「同情」の表現を学び、使用する。
	11 月	Lesson 12	注意すべき前置詞
		Labor / Business	「後悔」の表現を学び、使用する。 労働・仕事に関する場面を学ぶ。
	12 月	Lesson 13	注意すべき副詞
		Information and Communication Technology	「結果・程度」の表現を学び、使用する。 情報通信技術に関する場面を学ぶ。
	1 月	Lesson 14	注意すべき比較
		Literature	「条件」「仮定」の表現を学び、使用する。 文学に関する場面を学ぶ。
	2 月	Lesson 15	注意すべき名詞
		Modern Society / Social Issues	「譲歩」「様態」の表現を学び、使用する。 現代社会・社会問題に関する場面を学ぶ。
	3 月	Lesson 16	倒置・強調・省略
		Life / Philosophy	「比較」「対照」の表現を学び、使用する。 人生・哲学に関する場面を学ぶ。

教 科 名		英語	科 目 名	English Communication III		単 位 数	4	
教科書等		Genius English Communication III (大修館)		教 材 等	教科書付属『学習ノート』（大修館） ライトハウス英和辞典（研究社）			
目 標		1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持つことができる。 2 英語を通じて、国際協力、科学、環境、伝統文化、職業・仕事、異文化間コミュニケーション、科学技術、スポーツ・福祉、食糧問題、メディア論などの話題に関する情報や考えなどを的確に理解する能力をさらに伸ばし、社会生活に活用することができる。 3 英語を通じて、国際協力、科学、環境、伝統文化、職業・仕事、異文化間コミュニケーション、科学技術、スポーツ・福祉、食糧問題、メディア論などの話題に関する自分の考えや概要などを適切に伝える能力をさらに伸ばし、社会生活に活用することができる。 4 言語の使用場面や目的に合わせて、語彙・文法事項を適切に運用することができる。						
評価の観点		関心・意欲・態度		表現の能力		理解の能力		言語・文化
観点の趣旨		コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動に参加している。		様々な話題に関して、情報や考えなど、相手に伝えようとする事柄を、英語で話したり、書いたりして、適切に表現することができる。		様々な話題に関して、情報や考えなど相手が伝えようとする事柄を的確に理解することができる。また、聞き手に伝わるように適切に音読することができる。		様々な話題についての学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価方法	定期考査			○		○		○
	授業における言語活動	○		○		○		
	課題の提出状況	○		○				
学期	月	単元内容（単元名）			具体的な学習内容			
前	4	Lesson 1 Step into a New World 青年海外協力隊員としてタンザニアの医療改善に貢献した日本人看護師とセネガルで水供給体制の構築のために働いた日本人技術者の体験談を読み、国際協力、ボランティアについて考える。			・青年海外協力隊に参加した若者の体験に関する本文の要点をまとめる。 ・グループワークにおいて国際協力に関する自分の考えを伝える。 ・発展途上国の人々に対して私達がどのような援助ができるかについて、自分の考えをまとめ、エッセイを書く。 ・聞き手に伝わるように音読する。			
	5	Lesson 2 Finding Flow 心理学者チクセントミハイの学習理論について学ぶ。時間の意			・フローに関する説明文の要点をまとめる。 ・ペア・ワークやグループ・ワークにおいて自分の学習体験を伝える。			

期		識や自我を超越して何かに没頭する状態であるフローを説明する解説文を読み、自分のこれまでの学習体験について考える。	・生活の質を向上させるために何ができるかについて自分の考えをまとめ、エッセイを書く。 ・聞き手に伝わるように音読する。
	6	Lesson 3 The Island in the Wind 再生可能な自然エネルギーを使い電力を完全に自給自足しているデンマークのサムソ島について学び、エネルギー問題について考える。この改革が地域重視で行われたことが成功の理由であるという点から、地域社会の意思決定のあり方についても考えを深めることができる。	・環境およびエネルギー問題に対する一つの成功例であるサムソ島に関する話の要点をまとめる。 ・ペア・ワークやグループ・ワークにおいて環境およびエネルギー問題に関する自分の考えを伝える。 ・エネルギーを節約するために何ができるかについて自分の考えをまとめ、エッセイを書く。 ・聞き手に伝わるように音読する。
	7	Lesson 4 Quest for Traditional Colors 日本古来の植物染（草木染め）によって日本の伝統色を現代に蘇らせた染織家吉岡幸雄の生き方について学ぶ。平安時代の染色技術を探求する姿から伝統文化について考える。	・日本の伝統的な染色技術および染織家吉岡幸雄に関する話の要点をまとめる。 ・ペア・ワークやグループ・ワークにおいて伝統文化に関する自分の考えを伝える。 ・どのような日本の伝統を保持すべきかについて自分の考えをまとめ、エッセイを書く。 ・聞き手に伝わるように音読する。
後	9	Lesson 5 Practical Wisdom: What it Takes to Be Good as Work いかなる仕事においても単なる抽象的な知恵だけでなく、アリストテレスが phronesis と呼ぶ実践的な知が求められる。病室における清掃員の行動など具体的な例をもとに他者を正しく扱うために必要な実践的な知について考える。	・社会生活において求められる実践的な知について概要を伝える。 ・ペア・ワークやグループ・ワークにおいて仕事や規則に関する自分の考えを伝える。 ・仕事をしていく上でどのような徳を優先させたいかについて自分の考えをまとめ、エッセイを書く。 ・聞き手に伝わるように音読する。
	10	Lesson 6 Crosscultural Communication 社会言語学者デボラ・タナンが著した異文化間コミュニケーション研究の紹介文。差別や偏見	・言語と差別および異文化理解に関する話の要点をまとめる。 ・ペア・ワークやグループ・ワークにおいて異文化間相互理解に関する自分の考えを伝える。

期		がイントネーションなどの小さな言語的違いから生まれた例を読み、言語と差別の関わりについて考える。相手のメッセージを理解するためには、相手文化の理解が必要であることについても学び、異文化理解の重要性について考える。	・異文化の人達の間における誤解を避けるために何が必要かについて自分の考えをまとめ、エッセイを書く。 ・聞き手に伝わるように音読する。
	1 1	Lesson 7 What are Stem Cells? 2012 年にノーベル生理学・医学賞を受賞した京都大学の山中伸弥教授が開発した iPS 細胞について学ぶ。幹細胞の機能、ES 細胞と iPS 細胞の違いなどを中心に、iPS 細胞がどのように開発されたのかについて理解する。	・ iPS 細胞に関する話の要点をまとめる。 ・ ペア・ワークやグループ・ワークにおいて再生医療に関する自分の考えを伝える。 ・ どのような発見を科学者に期待したいかについて自分の考えをまとめ、エッセイを書く。 ・ 聞き手に伝わるように音読する。
		Lesson 8 Paralympic Games 障がいを持つスポーツ選手の国際大会であるパラリンピックがどのような経緯で行われるようになったのかを学ぶ。陸上選手である中西麻耶の競技に対する姿勢を理解し、障がい者と社会の関わりについて深く考える。	・ パラリンピックに関する話の要点をまとめる。 ・ ペア・ワークやグループ・ワークにおいて障がいに関する自分の考えを伝えることができる。 ・ 障がいを持つ人が社会活動にもっと参加できるようにするためにはどのような障壁を取り除くべきかについて自分の考えをまとめ、エッセイを書く。 ・ 聞き手に伝わるように音読する。
	1 2	Lesson 9 How to Feed the World in 2050 今後人類が直面する食糧不足を補うためどのような対策が可能かを科学技術の面から考える。	・ 自由に関するカントの思想を紹介した文章を読み、その要点をまとめる。 ・ 分詞構文、未来完了の形・意味・用法を理解する。 ・ 聞き手に伝わるように音読する。
	1	Lesson 10 Spoken Language vs. Written Language ソクラテスは文字で表された文化に比べ、口承の文化が優位性を持つと主張した。筆記された言葉の弱点を挙げ、深い思考を伴わない言語使用を批判する。	・ 言葉と思考に関する論述文の要点をまとめる。 ・ 言語と思考に関する自分の考えをまとめ、グループで発表する。 ・ 聞き手に伝わるように音読する。

教 科 名		英語	科 目 名	英語表現Ⅱ		単 位 数	文系3、理系2	
教科書等		Vision Quest			教 材 等	辞書等		
目 標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。						
評価の観点		関心・意欲・態度		外国語表現の能力		学国語理解の能力		言語や文化についての知識・理解
観点の趣旨		英語への興味・関心、積極的コミュニケーション努力		英語で表現する努力、標準的な発音で英語を話す努力		相手の考えや文章内容を理解しようとする努力		日常生活表現の習得、内容理解と知識拡大への努力
評価方法	定期考査			○		○		○
	意思疎通の姿勢	○		○		○		
	課題	○		○				
	発表活動			○		○		○
	発音への意識			○				○
学期	月	単元内容（単元名）			具体的な学習内容			
前期	4月	P a r t 2 パラグラフを書く			パラグラフの構成 例示, 追加 比較, 対照 原因, 理由, 結果 要約			
	5月	Lesson 1 ロボットの有用性 Lesson 2 英語を学ぶ意義						
	6月	Lesson 3 都会と田舎 Lesson 4 深刻な黄砂問題						
	7月	Lesson 5 ベジタリアン						

後 期	9 月	P a r t 3	
		英語で発信する	
		Lesson 1 プレゼンテーション	ブレインストーミング
	10 月		アウトラインの作成, 資料を探す
			プレゼンテーションの準備, 実施
	11 月		プレゼンテーションの質疑応答
			発表者の評価
	12 月	Lesson 2 ディスカッション	ディスカッションの進め方
			ディスカッションに役立つ表現, 評価
	1 月	Lesson 3 ディベート	ディベートの進め方, 準備
	2 月		ディベートを行う上での注意点, 判定
	3 月		

教 科 名		外国語	科 目 名	英語演習		単 位 数	2
教科書等		CROWN PLUS English Series Level 3		教 材 等	辞書等		
目 標		高校段階の英語をしっかりと定着させるとともに、「論理的読解力」「表現力」「文法力」を高め、高度な英文にも対応できる能力を養う。					
評価の観点		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解		
観点の趣旨		コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。		
評価方法	定期考査		○	○	○		
	授業における言語活動	○	○	○			
	提出物	○	○				
学期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容			
前後	4・5	L.1 The Mystery of the Mary Celeste		これまで学んできた文法の中でも、「句と節」について復習し、文構造の理解と定着を図る。			
	6・7	L.2 Bus Boycott in Montgomery		↓			
	9・10	L.3 Hokusai		↓			
	11	L.4 Water		文章展開パターンを意識することによって、筆者の主張を的確に把握する練習を積む。			
	12	L.5 The Magic of Moving Pictures					
	1	L.6 A Living Library		↓			